

算数だより No. 17

北区立滝野川第二小学校 田中 一男

間違えやすい「時刻」 — 2・3年 —

1. はじめに

学習指導要領では、2年生から学習することになった「時刻」。日常生活では、「時刻」という言葉は、いい加減に扱われていることがあります。

例えば、「集合時間に遅れないようにしましょう。」とか、「終わりの時間は、11時30分です。」などです。ほとんど「時間」との意味の取り違が多いです。ニュースでも時々、「日本時間では3時。」などという言い方をしておりますが、この場合は、日本時刻と言い換えにくい言葉なのかもしれません。それでも、身の回りには「時刻表」というしっかりとした言葉も存在します。

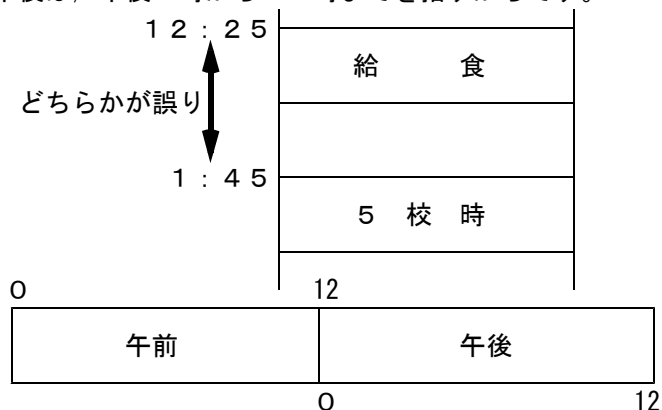
算数では、「時刻と時刻の間を時間という。」と決めて、時刻と時間をきちんと区別して指導します。ですから、学校生活で扱う言葉もそれに合わせていきたいものです。

2. 生活時程表を見直してみましよう。

学校生活の基盤とも言うべき、「生活時程表」。あなたが関係する学校の給食の開始時刻は、どう表されていますか。12時25分などと書いてあるかもしれません。5校時の始まりの時刻は、どう表されていますか。1時45分などと書いてあるかもしれません。

12時25分としてあるのなら、24時間制の読み方ですから、5校時の開始時刻は13時45分とするのが正しいのです。1時45分としたいのなら、1日を午前と午後に分ける考え方です。給食の開始時刻は0時25分とするのが正しいのです。

なぜなら、午前は、午前0時から12時までを指し、午後は、午後0時から12時までを指すからです。



とは言うものの、不自然に感じられないのは、2年生の時計の読みで、右上の図のような時刻を、12時25分と読ませるなどの活動をしてきたからです。これは、

24時間制を意識したのではなく、時計の目盛りを使って、簡易的に読めるようにしたいがためにやっていることなのです。

24時間制にして表したり、0時25分と表したりしたのでは、かえって違和感が生じるのではないかと考えて生活時程表を作成しているのかもしれませんが。

しかし、生活時程表は、算数が日常生活に生かされている事象です。ぜひ正しく表記してほしいものです。



3. 算数的に間違った使い方を見かけます。

デジタル時計が近くにありましたら、観察してほしいのです。真夜中の0時を過ぎると、どうなりますか。もしかしたら、12:01 pmなどと表示されませんか。これは、日本式の表示です。英米では、あり得ません。英米では、正午の前を am, 正午の後を pm と決めていくからです。そもそも日本式の表示があるから混乱してくるわけで、なんとかしてほしいものです。ちなみに、テレビでは、正午を過ぎると、きちんと0:01のように表示されます。(正午は12時ではなく、0時と表示しています。)

ところで、駅の時刻表を見ると、おもしろいことに気付きます。深夜の時刻表に、新宿24:22発というような24時を過ぎて発車する電車があるのです。「1日って24時間ではなかったっけ?」と疑問に思うことはありませんか。

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 23 | 04 | 13 | 21 | 27 | 35 | 41 | 52 |
| 24 | 02 | 22 | | | | | |

これは、その日の最終電車という意味で使っているのでしょうか。こうなると、記号とも言えるかもしれません。

病院の診療時間などでも、午前9時~12時30分とよく見かけます。1日は午前と午後の二つに分かれており、午前も午後も12時間ずつあるはずですから、正しい表示ではありません。

しかし、午前9時~午後0時30分と正しく書いてあるところは、ほとんどありません。子供たちが目に触れる社会においても正しい用語を使ってほしいものです。

このように、「時刻」という言葉は、間違えやすく捉えられてきました。大人が正しく扱い、子供たちが迷わないようにしていくことが大切です。